
平成28年度 予算案の主な取組



©NARA pref.

第32回国民文化祭・なら2017
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会
2017.9.1～11.30開催

平成28年2月
奈良県

I 平成28年度予算編成にあたっての考え方

「住んでよし」「働いてよし」「訪れてよし」の奈良県の実現に向けて

- 本県では、「県政の目指す姿」である「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ため、「経済の活性化」と「くらしの向上」を柱として、持続可能な財政運営を維持しつつ、知恵と工夫をこらし、直面する県政諸課題に積極果敢に取り組んでまいりました。
- その結果、企業立地が着実に進むとともに、観光客の増加や医療提供体制の充実など成果が現れてきましたが、未だ、経済的な立ち後れを取り戻すに至らず、また、今後、人口減少、高齢化が急速に進むことが予想されます。
- このため、引き続き、以下の取組を重点的に進めてまいります。
 - ・脱ベッドタウンを図り、投資・消費・雇用が県内で好循環するよう、本県経済の活性化と奈良で働くしごとの場を創出する取組
 - ・2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とする、観光振興、文化発信、スポーツの振興などの取組
 - ・県民ニーズの高い、健康づくり、医療・福祉の充実など、くらしやすい奈良をつくる取組
 - ・過疎化が進んでいる南部地域・東部地域の振興に向けた取組
 - ・このほか、県政全般にわたる喫緊の課題への迅速かつきめ細かな対応

左記の考えの下、平成28年度は、次の具体の施策体系のもと、各般の取組を進めてまいります。

・ **経済の活性化**

- 産業構造の改革
- 県内就業の促進
- 観光の振興
- 農・畜産・水産業の振興
- 林業・木材産業の振興

・ **くらしの向上**

- 健康づくりの推進
- 医療の充実
- 福祉の充実
- 少子化対策・女性の活躍促進
- 学びの支援
- 文化の振興
- スポーツの振興
- 安全・安心の確保
- 景観・環境の保全と創造
- エネルギー政策の推進
- くらしやすいまちづくり

・ **南部地域・東部地域の振興**

・ **効率的・効果的な基盤整備**

・ **協働の推進及び市町村への支援**

Ⅱ 施策体系ごとの主な取組

〔経済の活性化〕 産業構造の改革

■売り込み（国内外への販路開拓）

- リーディング分野、チャレンジ分野の産業創出に向けた取組を推進（アンケート調査による県内企業の動向の把握等）[2]
- ・県内企業の海外展開を促進（JETRO地方事務所の誘致検討、海外展開動向調査の実施）[4]
- 県内企業の海外販路拡大を支援（海外展示会への出展支援、・セミナーの開催等）[22]
- ・製造から小売までを一貫して行うSPAモデルを構築（商品開発、期間限定の首都圏出店を支援）[10]

■研究開発

- 漢方の産業化に向け、薬用作物の生産拡大、関連商品・サービスの創出等を総合的に推進（・宇陀地域の気候・土壌条件に適応した薬草研究、・国産生薬の品質評価方法の構築等）[40]
- ・I o Tを活用したビジネスプランの策定に向け、専門家による個別支援等を実施[2]
- ・I o Tを活用した観光消費促進アプリの開発・実証実験[22]
- ・「奈良県産業振興総合センター中期研究開発方針」の推進[33]

■人材育成

- ・後継候補者を発掘し、円滑な事業承継を支援[4]
- ・空き店舗の解消を支援（セミナーの開催、開業希望者による実験店舗の運営）[7]



国際ギフトフェア「NY NOW 2015 Winter」



活用が進む大和トウキの葉

■地域のリソースを活用したまちづくり

- 大宮通り新ホテル・交流拠点における、ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備の推進[269]
- ・庁内に大宮通り新ホテル・交流拠点事業室を設置
- 京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺に産業集積地を形成[76]

■起業支援

- ・生産・流通・加工・販売を連結する縦型事業協同組合モデルの実証（大和野菜の生産、首都圏への流通、加工品の製造、市場や学校給食関係者等へ売り込み）[40]
- ・「翻訳者養成塾」を修了した女性等の起業・就労を支援（観光パンフレット等の翻訳の機会を提供）[8]
- 起業に向けた事業計画を全国から募集し、優れた計画を表彰[5]
- ・創業しようとする若者に対する無利子、無保証料の貸付資金を創設

■企業誘致

- 京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺地域における工業ゾーンの創出に向けた取組を推進（協議会の運営、予定地の調査・計画図の作成、・農地の総量確保のため県が耕作放棄地を取得等）[79]
- 企業誘致に向けた京奈和自動車道の整備促進など県の活力を牽引する骨格幹線道路ネットワークの形成[15, 372]
- 企業立地促進補助金（・県外からの本社機能の移転及び県内本社機能の拡充に対する支援の充実）[900]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・経済・産業振興プロジェクト（⑳1,792 ㉑1,692 +100）P1
- ・漢方のメッカ推進プロジェクト（⑳40 ㉑32 +8）P3



ビジコン奈良2015



企業立地の魅力が高まる郡山下ツ道ジャンクション

※[]はH28当初予算とH27.2補正予算の合計額、単位：百万円

県内就業の促進

■雇用のマッチング支援

- 県内就労あっせん・起業支援センターにおいて、県内企業の人材確保と起業支援を実施[36]
- ・長時間労働の削減等に向けた働き方の改善を推進（シンポジウム、セミナーの開催等）[2]

■若者の就労支援

- ・若年者の職場定着率向上や正規雇用化を促進（社会保険労務士等による個別相談会の開催）[6]
- U・I・Jターンによる県内企業への就職を促進（・県内企業紹介冊子の作成、・首都圏における企業合同説明会の開催、相談支援体制（東京・奈良）の整備等）[21]

■女性の就労支援

- ・女性起業家・経営者に対し、専門的スキル等の向上と幅広いネットワークづくりを支援[3]
- ・「翻訳者養成塾」を修了した女性等の起業・就労を支援（観光パンフレット等の翻訳の機会を提供）[8]（再掲）

■障害者・高齢者の就労支援

- ・障害者を雇用する意欲的な事業所の雇用拡大に向けた取組や特例子会社の設立・運営を促進[39]
- ・高齢者の就業を促進（人材活用方策検討会・再就職相談会の開催、インターンシップの実施）[4]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・雇用振興プロジェクト
(28118 2722 +96) P4



業界研究会



無料職業紹介所（しごとんセンター）

観光の振興

■おもてなし環境の整備

- ・観光関連事業者、交通事業者、有識者等による委員会を設置し、観光産業のサービス改善に向けた取組を検討[7]
- 奈良県外国人観光客交流館（奈良県猿沢イン）の整備・運営（11月にグランドオープン予定）[358]
- 奈良県外国人観光客交流館（奈良県猿沢イン）及び奈良公園等でのおもてなしイベントの開催[11]
- ・高等技術専門校の訓練コースの充実（観光マーケティングコースの設置、外部講師の招聘等）[10]

■旅行商品の開発等

- ・県内観光素材の旅行商品化（大和しかバスツアー）と販売を支援[6]
- 修学旅行や団体旅行の誘致を促進（・修学旅行誘致ポータルサイトの制作等）[11]
- ・近鉄と連携し奥大和の魅力を発信する旅行商品の造成及びPR[10]
- 海外発の旅行商品の造成を促進（県内観光施設の情報提供、手配の代行、旅行商談会への出展等）[54]

■イベントの充実

- ムジークフェストなら2016の開催[144]
- 奈良県大芸術祭の開催[69]
- 奈良大立山まつりの開催[96]
- 馬見丘陵公園において花と親しむイベントの開催（チューリップフェア、・ひまわりウィークイベント、・冬季イルミネーションイベント等）[51]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・観光振興施策の推進（⑳1,252 ㉑1,124 +128）P5



奈良県外国人観光客交流館（イメージ）



奈良大立山まつり

※[]はH28当初予算とH27.2補正予算の合計額、単位：百万円

観光の振興（つづき）

■プロモーションの展開

- ・マーケティングの専門家等による委員会を設置し、市場ニーズに基づく、国内外のターゲット市場に向けた効果的なプロモーション等を検討[23]
- 春日大社式年造替を契機とした誘客促進キャンペーンの実施[205]
- 首都圏での効果的な観光プロモーションを実施（東京駅近隣商業施設や雑誌、交通メディアを活用した観光情報の発信、・歳時記と関連づけた情報コンテンツ「奈良の暦」の制作等）[89]
- 海外新市場開拓のためのプロモーションを実施（海外旅行会社・メディア等へのプロモーション、・関西広域連合による東南アジア市場へのトップセールス、・奈良の四季の情報発信等）[77]

■大宮通りプロジェクトの推進

- 奈良公園及びその周辺の魅力向上（吉城園周辺地区の整備、鹿苑の整備、高畑町周辺地区の整備、・猿沢池周辺地区の園地整備、若草山山麓歩道等の整備、文化会館・県立美術館及びその周辺地域の一体整備に向けた県有施設の除却、・（仮称）登大路バスターミナルの施設整備、県庁舎エレベーターホール等の木質化整備等）[1, 694]
- 大宮通り新ホテル・交流拠点における、ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備の推進[269]（再掲）
- ・庁内に大宮通り新ホテル・交流拠点事業室を設置（再掲）
- 平城宮跡周辺の魅力向上（朱雀大路西側地区の公園整備、・第一次開園に向けたプロモーションの実施等）[2, 459]
- 奈良公園移動環境の整備（観光案内サインの整備、・奈良Free Wi-Fiのエリア拡大、（仮称）登大路バスターミナルの造成工事、「ぐるっとバス」の運行、・県庁西交差点の横断歩道等整備、大宮通りの修景植栽整備等）[660]



（仮称）登大路バスターミナル（イメージ）



大宮通り新ホテル・交流拠点

■都市公園

- 馬見丘陵公園の整備（チューリップ、花菖蒲、ダリア等によるパノラマ景観の創出等）[122]
- 馬見丘陵公園において花と親しむイベントの開催（チューリップフェア、
・ひまわりウィークイベント、
・冬季イルミネーションイベント等）
[51]（再掲）

■案内サイン・奈良盆地周遊型ウォークルート・（仮称）京奈和自転車道

- 観光案内サインの整備[70]（一部再掲）
- 奈良盆地周遊をテーマに市町村と連携したウォークルートを設定（案内サインの整備等）[66]
- 京都・奈良・和歌山を結ぶ（仮称）京奈和自転車道及び歴史文化資源や農村景観を活用した農村周遊自転車ルートの整備[180]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・大宮通りプロジェクト（㊸5,799 ㊹4,945 +854）P6
- ・案内サインの整備促進（㊸136 ㊹158 ▲22）P11



平城宮跡歴史公園拠点ゾーン整備計画（イメージ）



馬見チューリップフェア



（仮称）京奈和自転車道（イメージ）

※[]はH28当初予算とH27.2補正予算の合計額、単位：百万円

農・畜産・水産業の振興

■販路開拓・拡大

- 県産農産物の首都圏におけるセールス強化（百貨店での奈良の食と観光PRフェアの開催、・東京における県産食材レストラン「ときのもり」を活用したPR等）[52]
- 農産物の海外への販路開拓を支援（・海外見本市への出展等）[14]

■なら食と農の魅力創造国際大学校・農業研究開発センター

- なら食と農の魅力創造国際大学校（通称：NAFIC）（4月開校）において、次世代の「食」と「農」のトップランナーを育成[174]
- ・NAFICを核とした賑わいづくりを推進（地域協議会の開催、セミナーハウスの整備検討等）[26]
- 農業研究開発センターの整備と研究機能の高度化[1,785]

■ぐるっとオーベルジュの推進

- ・食と農を活かしたオーベルジュの整備基本計画を策定する市町村を支援 [5]

■チャレンジ品目・リーディング品目等の振興

- 県産農畜水産物のブランド認証制度の本格実施[73]
- チャレンジ品目、リーディング品目の高品質安定生産に向けた支援[13]
- ・生産・流通・加工・販売を連結する縦型事業協同組合モデルの実証[40]（再掲）
- ・みつえ高原牧場の今後の活用・運営方針等を検討（基本構想の策定）[31]
- ・今後の水産業支援の体制について検討（実態調査・分析、検討会の開催）[3]

■農村資源を活用した地域づくり・地域振興を図るための農地活用の推進

- ・県が耕作放棄地を取得・整備し、意欲ある農業の担い手へ貸し出し[40]（再掲）
- 農村景観を活用した農村周遊自転車ルート整備[51]（再掲）
- ・ジビエ（食用野生獣肉）の利活用に向け、実態調査及び取り扱い施設の認定制度を創設[3]



東京における県産食材レストラン「ときのもり」



なら食と農の魅力創造国際大学校（安倍校舎）

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・農・畜産・水産業の振興と農村の活性化
（⑳2,508 ㉑4,285 ▲1,777）P12

林業・木材産業の振興

■ A・B・C材全てを搬出して多用途に供給する林業への転換

- 県職員が「儲かる林業」の施業プランを森林所有者に提案するとともに、意欲ある素材生産業者とのマッチングを実施[4]
- 奈良型作業道や架線集材施設設置支援等による木材生産の拡大[367]
- ・より効率的な素材生産作業システムの実践を支援[4]

■ A・B・C材毎の受け皿の確保及び県産材製品の安定流通の実現

- ・奈良の木のPRを強化（奈良の木に関する情報をポータルサイトに集約、PR動画の制作等）[10]
- 首都圏の商業施設や住宅等への新たな販路の開拓（・東京オリンピック・パラリンピック関連施設等での県産材使用に向けた売り込み等）[25]
- 県産材の海外への販路開拓を支援（・国内商社等からの情報収集、・セミナーの開催等）[5]

■ 森林を活用した地域づくりと森林環境の適切な保全

- 効率的で持続可能な森林環境管理制度の導入を検討（・スイス・ベルン州開催のサマースクールへ派遣等）[6]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・林業・木材産業の振興と森林の保全と活用（⑳1,762 ㉑1,713 +49）P13



木材搬出の様子



首都圏木材市場でのPR

〔くらしの向上〕 健康づくりの推進

■健康長寿プロジェクトの推進

- ・がん検診対象者への個別受診勧奨と未受診者への再勧奨等を実施する市町村を支援[51]
- ・県民の野菜・食塩等の摂取量を調査し、市町村毎の課題に応じた取組を支援[24]
- 誰でも気軽に健康づくりを開始・実践できる「健康ステーション」の運営及び市町村への設置促進（・市町村営の健康ステーション設置に対する支援等）[37]
- 山間部の高齢者等を対象に、見守り、健康づくり支援機能等を備えた「奈良県版生活支援スマホ」を本格導入[22]
- 特定健診受診率及び特定保健指導利用率の向上に向けた取組の推進（・特定健診等のデータから生活習慣病等のリスク因子を分析等）[1]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・健康長寿プロジェクト（⑳170 ㉑114 +56）P14



奈良県健康ステーション（王寺）



「がん検診を受けよう！」奈良県民会議トークイベント

医療の充実

■高度医療・救急医療・周産期医療の確保・充実

- 北和地域の高度医療拠点病院としての奈良県総合医療センターの移転整備、アクセス道路等の整備[13, 316]
- 県立医科大学附属病院のE病棟整備に対する支援（平成28年秋全面供用開始予定）[4, 242]
- 周産期母子医療センターの運営支援[40]
- ・県独自のドクターヘリの導入（平成28年度中運航開始予定）、県立医科大学附属病院にヘリポートを整備[593]

■医師・看護師の確保

- 医師確保修学資金貸付金及び看護師等修学資金貸付金[324]
- ・在宅看護を牽引するリーダーの養成・確保に向け、県立医科大学の奨学金制度の創設を支援[6]

■地域医療提供体制の構築

- ・4月に開院する南奈良総合医療センター等の運営を支援[1, 038]
- 医療機関の機能分化と連携を推進（・患者の受療・疾病動向等を調査・分析、地域包括ケア病床への改修支援等）[55]
- ・医療事故情報を収集・分析・評価する組織のあり方と活用方策を検討 [2]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制の構築
(²⁸1, 917 ²⁷1, 132 +785) P15



移転整備後の新奈良県総合医療センター（イメージ）



県立医科大学附属病院E病棟（イメージ）



南奈良総合医療センター（イメージ）

※[]はH28当初予算とH27.2補正予算の合計額、単位：百万円

福祉の充実

■地域福祉

- ・地域において誰もが集い交流する場となる小さな拠点づくりを推進[3]
- ・地域福祉の担い手となる市町村社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーク活動を支援[1]
- ・人材育成体制や就労環境等の整った福祉・介護事業所を認証する制度を創設[13]

■障害者支援

- ・「障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」の施行に伴う相談体制の整備及び条例の普及啓発[10]
- ・障害者を雇用する意欲的な事業所の雇用拡大に向けた取組や特例子会社の設立・運営を促進[39]（再掲）
- 障害者就労施設の授産商品等を購入できるプレミアム商品券を発行するとともに、販売会を開催[22]
- 全国障害者芸術・文化祭（平成29年）の開催準備（・イベントの開催等）[26]
- ・庁内に国民文化祭・障害者芸術文化祭課を設置

■健康長寿まちづくりプロジェクトの推進

- 奈良県総合医療センター（奈良市平松町）周辺での健康長寿のまちづくりの推進[12]
- 地域包括ケアシステム構築のため、モデルとなる市町村の取組を支援[37]
- ・高齢者が退院後、円滑に在宅療養に移行できるよう、医療と介護の連携に向けた退院調整のルールづくりを推進[7]
- ・要介護高齢者が安心して在宅療養生活を継続できるよう、訪問看護ステーションの取組を支援[10]
- ・認知症施策の早期実施・定着に向け、市町村を支援[3]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・健康長寿まちづくりプロジェクト
(28)21 (27)58 ▲37) P16



はたらく障害者応援フェア

少子化対策・女性の活躍促進

■少子化対策

- ・若者が結婚・出産・子育て・仕事等のライフプランを描くための支援を実施（大学生等に対する出前講座）[5]
- ・企業・団体等と協働した「縁結び」イベント等を実施[5]
- 子育て人材の確保対策（保育士人材バンクの運営、保育士キャリア認定制度の推進、・若手保育士定着のためのワークショップを開催等）[57]
- 経済的に困難な環境にある子どもたちへの支援（学習支援教室の開催、・放課後や土・日曜日の居場所づくりへの支援等）[47]
- 子どもに対する医療費助成（・小・中学生の通院を助成対象に追加）[946]
- ・若年者の職場定着率向上や正規雇用化を促進（社会保険労務士等による個別相談会の開催）[6]（再掲）

■女性の輝き・活躍の促進

- 女性の活躍促進に向け、実態把握と情報交換・発信等を実施（女性の活躍促進会議の開催、・フォーラムの開催、・ジャーナルの発行等）[5]
- ・奈良の文化発信や地域防災の担い手となる女性人材を育成[9]
- ・女性起業家・経営者に対し、専門的スキル等の向上と幅広いネットワークづくりを支援[3]（再掲）
- ・「翻訳者養成塾」を修了した女性等の起業・就労を支援（観光パンフレット等の翻訳の機会を提供）[8]（再掲）

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・少子化対策（28,959 27,289 +670）P17
- ・女性の輝き・活躍の促進（28,47 27,20 +27）P18



元気に遊ぶ子どもたち(片岡の里保育園)



翻訳者養成塾フォローアップ講座

※[]はH28当初予算とH27.2補正予算の合計額、単位：百万円

学びの支援

■教育力の充実

- 総合教育会議及び奈良県教育サミットを開催し、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策を推進[31]
- 京都大学と連携し、効果的な就学前教育の手法を調査・研究[5]
- ・高校生が主体となる地域社会と連携した取組を促進[5]
- 不登校・いじめ対策の推進（・大学生ボランティアの派遣、スクールカウンセラーの配置強化等）[76]
- ・高等技術専門校の訓練コースの充実（観光マーケティングコースの設置、外部講師の招聘等）[10]（再掲）
- 県立高校及び公私立幼稚園における運動場芝生化の推進[276]

■私学の振興

- ・私立学校におけるALTの配置を支援[10]
- ・私立幼稚園の認定こども園等への移行を支援[1]

■県立大学の充実

- 公立大学法人奈良県立大学の運営を支援[335]
- 東アジア各国の若い世代を対象とした短期集中型セミナーの開催を支援 [28]
- シニア世代を対象とした学び直しのための講座の開催を支援[1]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・奈良県教育の充実（⑳7,519 ㉑7,449 +70）P19



総合教育会議



東アジア・サマースクール2015

文化の振興

■文化資源活用

- ・文化政策を総合的・戦略的に推進する「奈良県文化振興大綱」の策定[2]
- 県内の歴史文化資源データベースの構築（・ホームページの制作等）[21]
- ・平成33年に没後1400年を迎える聖徳太子の顕彰シンポジウム等を開催[12]
- 歴史文化資源や史跡等の整備・活用を支援（・文化財等の活用を助成対象に追加）[85]
- ・文化財を体感することのできるイベント等を実施（文化財修理・修復”体感”モニターイベント等）[4]
- ・「文化芸術立国」に向けた先駆的な拠点としての（仮称）奈良県国際芸術家村の整備に向けた基本計画を策定[66]
- ・奈良県の文化芸術の担い手となる学生に対し、奨学金返還を免除するための基金を創設[31]

■文化振興

- ムジークフェストなら2016の開催[144]（再掲）
- 奈良県大芸術祭の開催[69]（再掲）
- 国民文化祭（平成29年）の開催準備（・プレイベントの開催等）[91]
- ・庁内に国民文化祭・障害者芸術文化祭課を設置（再掲）

■記紀・万葉プロジェクトの推進

- ・歴史好きで情報発信力の高い女性を対象に（仮称）ヤマト撫子大学を開催、・記紀・万葉をテーマとしたミュージカル・演劇等の誘致活動の展開、
・日本書紀PR映像を活用した情報発信等[97]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・文化資源の活用・（仮称）奈良県国際芸術家村の整備・記紀・万葉プロジェクト（⑳409 ㉔270 +139）P20
- ・文化振興策の推進（⑳388 ㉔305 +83）P21



（仮称）奈良県国際芸術家村（イメージ）



ムジークフェストなら2015

※[]はH28当初予算とH27.2補正予算の合計額、単位：百万円

スポーツの振興

■ トップアスリート・スポーツ指導者の育成

- ・スポーツ医科学に基づくアスリートの育成を目指し、年齢別の効果的なトレーニング手法や理論の研究・開発に取り組む奈良県スポーツアカデミーの基本方針を検討[28]
- 東京オリンピック・パラリンピックに向け、選手・指導者を育成[9]
- 東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップのキャンプ地招致に向けた取組を展開[18]

■ スポーツイベントの充実

- 第7回奈良マラソンの開催[77]
- ・南部地域のスポーツ拠点施設において、トップアスリートとの交流イベントやスポーツ教室等を開催[3]
- ・関西ワールドマスターズゲームズ（平成33年）の開催準備[14]

■ だれもがいつでもスポーツを楽しめる環境づくり

- 総合型地域スポーツクラブの活動を支援（クラブ間の交流大会、県民向けPRイベントの開催等）[6]
- 京都・奈良・和歌山を結ぶ（仮称）京奈和自転車道及び歴史文化資源や農村景観を活用した農村周遊自転車ルート of 整備[180]（再掲）
- 新県営プール「スイムピア奈良」の管理・運営（・屋外プール南側観客席屋根の整備に向けた設計等）[200]

【別冊資料】 主要プロジェクト

- ・スポーツの振興（28560 27351 +209）P22



大相撲奈良県知事賞贈呈
公益財団法人日本相撲協会提供



奈良マラソン2015

安全・安心の確保

■防災対策

- 陸上自衛隊のヘリポートを併設した駐屯地の誘致及びアクセス道路の調査 [30]
- 県内外からの支援を受け入れて迅速に対応できる広域防災拠点(防災基地)の整備に向けた基本構想を策定[16]
- 防災行政通信ネットワークの再整備[5, 160]
- 防災訓練等の実施（・近畿府県合同防災訓練、・市町村連携訓練等） [51]
- 道路・河川等の防災・減災対策[10, 888]

■大和川流域の力を結集した洪水対策

- 国直轄による遊水地整備の促進、河川改良や内水対策等の推進、田んぼの貯留機能活用を促進、総合治水に関する条例の検討等[3, 489]

■消防救急体制

- 奈良県救急医療管制システム（e-MATCH）の運営、データの収集・分析等[73]
- 奈良県広域消防組合等が実施した消防救急無線及び消防指令センターの一元化整備に対する支援[41]
- ・救急救命士資格を有している救急隊員の技能向上を支援[10]

■日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現

- ・（仮称）安全安心の確保のための奈良県基本計画の策定[1]
- 防犯カメラの設置を推進[6]
- ・交通事故の分析と検証を実施するための「交通事故情報総合管理システム」の高度化更新[4]
- 通学路や交通事故の危険性が高い箇所について、安全対策を推進[579]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・地域防災力の向上
（⑳16, 195 ㉑11, 951 +4, 244） P23
- ・大和川流域の力を結集した洪水対策（⑳3, 489 ㉑3, 390 +99） P24



緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練

景観・環境の保全と創造

■奈良の彩りづくり

- 奈良県を「一つの庭」と見立てた「なら四季彩の庭」づくりの推進（奈良公園、馬見丘陵公園、山の辺南等各エリアの整備等）[481]（一部再掲）

■きれいでくらしやすい生活環境の創造

- 「きれいに暮らす奈良県スタイル」の推進（・推進協議会の設立、フォーラムの開催等）[1]
- ・市町村が実施するごみ処理の広域化に対する支援[104]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・「きれいに暮らす奈良県スタイル」構築・推進プロジェクト（⑳938 ㉑700 +238）P25

エネルギー政策の推進

- ・地域振興や停電時の電力供給及び熱利用を目的とする、再生可能エネルギー活用の可能性調査を支援[10]
- ・災害時にエネルギーが自給できる設備の導入を支援[10]
- 地域の避難所や防災拠点等に再生可能エネルギー等の導入を支援[1, 125]
- ・小型風力発電設備導入の可能性を調査・検討[4]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・エネルギー政策の推進（⑳1,894 ㉑1,357 +537）P26



「なら四季彩の庭」づくり（奈良市水上池周辺）



小型風力発電設備
（イメージ）



木質バイオマス発電所

くらしやすいまちづくり

■市町村との協働まちづくりプロジェクトの推進

- 協働してまちづくりを推進するための連携協定を締結した市町村に対する支援（・まちづくりを目的としたイベントへの支援等）[312]
- まちづくり連携協定を踏まえた道路等の整備推進（・近鉄郡山駅周辺の都市計画道路のあり方検討、・桜井県営住宅建替工事の基本設計等）[101]

■医大・周辺まちづくりプロジェクトの推進

- 県立医科大学の教育部門等の移転整備に合わせた周辺まちづくりの検討（・民間活力の導入による整備手法の検討等）[1,865]（一部再掲）

■ファシリティマネジメントの推進

- ・小地域（字）における将来人口等を推計し、まちづくりを見据えた施設配置を検討、・国・県・市町村施設の整備手法に民間の活用を検討等 [102]

■移動ニーズに応じた交通サービスの確保・リニア中央新幹線

- くらしを支えるバス交通の確保[293]
- リニア中央新幹線想定ルート区域内における動植物の生息状況等の詳細把握等[23]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・市町村との協働まちづくりプロジェクト（⑳413 ㉑181 +232）P27
- ・医大・周辺まちづくりプロジェクト（⑳6,692 ㉑11,058 ▲4,366）P28
- ・ファシリティマネジメントの推進（⑳102 ㉑52 +50）P29
- ・移動ニーズに応じた交通サービスの実現（⑳380 ㉑393 ▲13）P30



桜井市とのまちづくり協定（大神神社参道整備）(イメージ)



天理市とのまちづくり協定（天理マルシェ）

※[]はH28当初予算とH27.2補正予算の合計額、単位：百万円

〔南部地域・東部地域の振興〕

■訪れてみたくなる地域づくり

- ・近鉄と連携し奥大和の魅力を発信する旅行商品の造成及びPR [10]（再掲）
- ・阪神百貨店梅田本店で奥大和の工芸品や食材のプロモーションの実施及び移住情報の発信 [5]
- ・飲食チェーン店等で奥大和の食材を活かした食のプロモーションを展開 [4]
- 奥大和地域での特色あるイベントの開催（えんがわ音楽祭、木造校舎近代美術館、・森のようちえん、奥大和ゆうゆう祭、Kobo Trail 2016） [29]
- ・奥大和地域の自然環境・地形等の特色を活かしたイベントを支援 [10]
- オフシーズン期における誘客を促進（路線バスキャッシュバックキャンペーンの実施、学生の合宿を支援） [25]
- 五條新宮道路など地域を支える主要な道路の整備推進 [5, 840]（一部再掲）

■住み続けられる地域づくり

- ・住民が安心して暮らし続けるための買い物手段や移動手段の確保に取り組む市町村等を支援 [16]
- 移住・定住、二地域居住に向けた拠点施設の整備を支援 [34]
- ・移住・定住に関わる情報交換や交流の拠点となる奥大和移住定住交流センターに相談員を配置 [5]
- 複数の市町村にまたがる広域的な地域振興活動に従事する「ふるさと創生協力隊」等の配置及び協力隊員の起業等を支援 [31]



Kobo Trail 2015



移住トークセッション

〔効率的・効果的な基盤整備〕

■地域経済の発展に寄与するインフラ整備

- 骨格幹線道路ネットワークの整備[15, 372]（再掲）

■防災・減災・老朽化対策

- 道路・河川等の防災・減災対策[10, 888]（再掲）、老朽化対策[4, 346]

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・アセットマネジメントの推進
(²⁸8, 971 ²⁷7, 762 +1, 209) P31



国道168号辻堂バイパス 新閉君橋
(平成28年3月開通予定)

〔協働の推進及び市町村への支援〕

■協働の推進

- 地元自治会やボランティア団体等が取り組む植栽・緑化活動等への支援 [73]（一部再掲）
- 奈良県協働推進基金を活用し、NPO等の活動を支援[8]
- 被災地でのボランティア活動を支援できる人材の養成等[1]

■奈良モデルの推進

- 奈良県に最適な地方行政の仕組み（奈良モデル）を構築するための取組を検討（・今後の奈良モデルのあり方について、有識者等と検討等）[13]
- 市町村が新たに取り組む広域連携等（奈良モデル）への支援[1, 650]
- 協働してまちづくりを推進するための連携協定を締結した市町村に対する支援（・まちづくりを目的としたイベントへの支援等）[312]（再掲）
- 市町村営水道事業の共同化・広域化等を推進（五條・吉野エリアの広域化を推進、・県営水道エリア全市町村の経営状況を比較・分析等）[16]
- ・磯城郡の水道事業広域化に向けた事業計画の策定[22]
- ・市町村が実施するごみ処理の広域化に対する支援[104]（再掲）

【別冊資料】主要プロジェクト

- ・水循環ビジョンの推進
県域水道ファシリティマネジメント (²⁸2, 153 ²⁷348 +1, 805) P32
保水力の向上・水辺環境の保全 (²⁸3, 694 ²⁷3, 511 +183) P33



総務部 財政課

TEL 0742-22-5704

FAX 0742-23-6895

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-11790.htm